

平成5年度・舞踊学会活動記録

◎平成5年度の「理事会」は下記の通り開催。

〈回〉	〈開催曜日〉	〈会議場〉
第1回	4月11日(土)	(国立教育会館)
第2回	5月6日(土)	(日本女子体育大学)
第3回	8月7日(土)	(国立教育会館)
第4回	10月17日(土)	(就実女子大学)
第5回	1月19日(土)	(国立教育会館)
第6回	3月12日(土)	(国立教育会館)

◎平成5年度の「舞踊学会」の大会は次の通り二回にわたり開催。

第35回「舞踊学会」の内容
(担当理事=桜井・平野・金井)

期日=6月5日(土)・6日(日) 2日間

会場=東京「日本女子体育大学」

第1日目(6月5日=全体進行担当桜井 勤)

主題「舞踊と小道具」

1. 「歌舞伎の小道具」ビデオ上映=国立劇場監修
2. 「小道具を主題に」パフォーマンス
 - ・モダンダンス「風林火山」
——金井美三枝舞踊団
 - ・スペイン舞踊「欲望という名の電車」より
ランチのソロ ——佐藤 桂子
 - ・モダンダンス「通夜の客」——五十嵐生野
 - ・日本舞踊「踊楽図」その三より
——花柳照奈と舞踊団

3. 「座談会」—主題「舞踊と小道具」
 - ・郡司 正勝 ・若松 美黄
 - ・福田 一平(司会を兼ね)

4. 「総会」(事業報告・会計報告・他)
- 第2日目、主題「我々にとって舞踊とは何か」8
「近代舞踊の出発(6)=江口隆哉の研究」
[全体進行=津田 史枝]

1. 講演「江口隆哉の時代とその周辺」
講師=桑原 和美
2. ビデオ上映=江口隆哉作品「日本の太鼓」
3. 「理事会を開催」
4. 「江口隆哉の足跡」

A [江口隆哉を語る]・赤木知雅・池田瑞臣
・大芝 信・大野一雄・水田外史
・津田史枝(司会を兼ねて)

B [江口隆哉が残したもの]=座談会
・金井美三枝・西田 堯・花柳 照奈
・松本千代栄・桜井 勤(司会を兼ね)

5. 資料展示「江口隆哉展」
- 第36回「舞踊学会」の内容
(担当理事=吉川・柴・古井戸)

期日=10月16日(土)・17日(日) 2日間

会場=岡山市「就実女子大学」

第1日目(10月16日=担当吉川周平)

A [研究発表] 座長=川口千代

1. 「教育としてのバレエの見直し」
佐藤俊子(北星学園女子短大)
2. 「姫路市小学校教員におけるダンス教育の意義とその現状」 北島見江(武庫川女子大)
3. 「井口阿くりとギルバートのダンス」
村山茂代(東京成徳短大)
4. 「ダンスアライメントに関する一考察」
森田玲子(川村学園女子大)
5. 「素足で踊る舞踊のための身体運動技術Ⅲ」
堀切紋子(フリー)
6. 「VTR『全日本高校・大学ダンスフェスティバル受賞作品集』の教材の価値」
高橋るみ子(宮崎大)

B [講演]

『九州・中国地方の神楽の舞踊』

講師 吉川周平

C [備中神楽見学]=担当吉川周平

「会場=成羽町大元八幡神社」

第2日目(10月17日・全体進行担当=柴真理子)

A [シンポジウム]

主題『我々にとって舞踊とは何か』9

——舞踊学の新しい方法を探る——

(パネラー)大貫 秀明・外山紀久子・渡辺 知也
(司会=柴 真理子)

B [研究発表] 座長=古井戸秀夫

1. 「二代目尾上多見蔵の所作事」
鈴木英一(フリー)
2. 「榎茂都陸平の新舞踊 [I]」
大正6(1917) - 昭和6(1931)
桑原和美(就実女子大)
3. 「阿波踊りの動きの多様化とその要因/1」
中村久子(徳島大)
4. 「聴覚障害児のダンスにおけるリズムカルな表現とモチーフ」 佐分利育代(鳥取大)
5. 「身体運動とその表現性Ⅱ」
西 洋子(学習院大)

◎平成5年度の「紀要編集委員会」は下記の通り開催。

〈開催曜日〉 〈名称〉

4月12日(月) 第1回委員会

6月5日(土) 第2回委員会

8月31日(火) 第3回委員会

9月14日(火) 第4回委員会

12月24日(金) 第5回委員会

◎1月25日(火) 第16号「舞踊学」発行